

広報

いわいさぎ

東日本大震災

3月11日（金）、長い地震の後、小本地区には大津波が押し寄せ、甚大な被害を及ぼしました。今月の広報では、月例記事をお休みし、東日本大震災についてお伝えします。

主な内容

東日本大震災……………	2
町長施政方針……………	8
23年度予算……………	13

町のホームページ・アドレス <http://www.town.iwaizumi.iwate.jp/>

町のブログ・アドレス http://www.town.iwaizumi.iwate.jp/iwaizumi_blog/

平成23年

4

• 1 No.808

津波、小本を襲う



被災した小本地区

東日本大震災は、本町はもちろん東北関東の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。町の被災現場には深い悲しみの涙、救援の汗が交錯していました。ここでは情報が絶たれた被災現場で何が起ったのか、そして、これからどうすればいいのかをお伝えします。

大地震と巨大津波来襲

3月11日（金）、午後2時46分ごろ、宮城県北部と宮城県中部で震度6強（のちに7に訂正）の強い地震があり、県沿岸に大津波警報が発令されました。

震源地は三陸沖で、震源の深さは約10キロ、マグニチュードは7・9と推定（のちに9と訂正）。本町でも震度4を記録しました。

3時21分、宮古港で4メートルの津波を観測。間もなく災害対策本部は避難指示を発令し、対象地区の住民を避難誘導しました。

3時28分ごろ、小本に津波が来襲。防潮林の松をなぎ倒し、水門を越えて小本、中野、小成に流れ込み、壊滅的な被害をもたらしました。

気象庁によると、東日本大震災のマグニチュード9は、関東大震災のM7・9を上回り国内観測史上最大級。世界でも5指に入る大地震となりました。

原因となった断層は長さ約4

00キロとみられ、東北から関東にかけての広い範囲で津波や地震に伴う火災が発生し、多くの死者や負傷者を出しました。

震源地は牡鹿半島の東南東130キロ付近で、震源の深さは約10キロ。最大で震度6弱の強い揺れを伴う余震が断続的に続き、眠れぬ夜を過ごしました。

途絶えた電気と通信

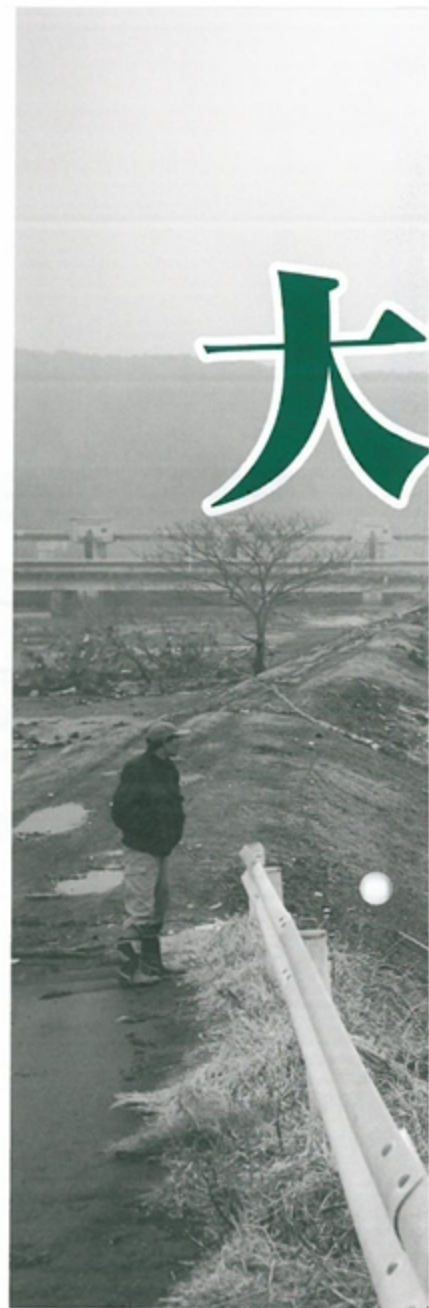
電気の供給は地震と同時に途絶え、電話も町内全域が不通になり情報が遮断されました。

現場がどのような状況なのか、何が必要なのか、手探りの捜索活動が続きました。

復旧遅る物資供給不足

町内のガソリンスタンドは、給油をする車や灯油を確保する人で混雑しました。

石油製品の供給は被災地を優先、一般には最小限の供給となりました。供給のめどがついていないため、各給油所は1回の給油量



商品不足のスーパーマーケット

や金額を制限して販売しました。灯油は病院や浄水場、ゴミ焼却場を優先。町は各避難所にも可能な範囲でストーブ用の灯油を供給しました。

ガソリン不足は公共交通機関の運行にも影響し、各路線で減便運行が行われました。物資輸送の足も止め、町内の店舗でもカップめんなどのインスタント食品や乾電

池などが不足。枯渇不安から「買いため」現象が起こり、物資不足に拍車をかけます。

不眠不休の消防団活動

地震発生時から、町の消防団の活動は始まりました。水門の閉鎖、避難誘導、宮古市田老での山火事の消火、懸命の捜索、がれきの撤去。度重なる余震や地震・津波情報のために作業は中断され、避難誘導の繰り返し。全町の消防団員が被災地に集結し、作業に当たりました。

作業にあたる消防団員の中には、自らが被災した人もいました。また、福島県の原子力発電所の事故で、放射線の放出の危険が報道され、被災現場では見えない危険をも恐れながらの作業を強いられました。

被災地に無常の雪積

東日本大震災の被災地は発生から6日目の16日（水）、真冬並み



2年前に完成した避難階段

の寒波に見舞われ、津波で甚大な被害を受けた小本地区は厳しく冷え込み、被災者は毛布にくるまって寒さをこらえました。停電が続く避難所では燃料消費を抑えるため日中の発電機使用を中断。石油ストーブの使用も必要最小限にしなければなりません。被災現場では、雪に覆われたがれきの中のガラスや釘を踏むけが人が相次ぎ、作業の効率を悪化させました。

児童救った避難階段

小本小学校（太田勝浩校長・児童88人）の児童の危機を救ったのは、2年前に設置された130段

の避難階段。小本小学校の背後には国道45号が横切り、高台の避難所がありますが、高さ十数メートルの切り立ったけがけがあり、大きく迂回しなければ避難できない状況でした。

数年前の避難訓練で、伊達町長が「児童が津波に向かってにげるのはおかしい」と国土交通省三陸国道事務所に掛け合い、平成21年3月に国道45号に上がる、長さ約30メートルの避難階段が完成しました。

巨大津波で同校の校舎と体育館、校庭とも浸水しましたが、児童は全員無事に避難。高橋渉副校長は、「階段のおかげで避難時間が5〜7分短縮できた。あと10分遅れていたらどうなっていたか分からない。少なくとも何人かはけがをしていたかもしれない」と眉をひそめていました。

小本小、中学校の卒業式

3月22日（火）、町民会館で小本小学校（同校大牛内分校を含む）と小本中学校（小野佳保校長・生徒40人）の卒業証書授与式が、それぞれ行われました。

小本小学校の太田校長は、「卒業生も在校生も、みんなそろって卒業式を迎えることができ嬉しい。人の役に立つ、思いやりのあ

る人になってほしい。必ずなれると信じています」とあいさつ。伊達町長は「春の来ない冬はありません。夜が明けない日もありません。しっかりと前を向いて進んでください」と励ましました。

復興に向け町民一丸

町では、復興に向けて町民が一丸となって炊き出しや避難所の支援活動を行っています。

旧町村ごとの地域振興協議会では、被災した小本地区のために、それぞれの地区内にある町内会などに当番を割り当て、被災地での作業従事者や避難者の食事作り、支援物資の仕分け作業などに汗を流しています。

町内の婦人会や企業、個人でも物資の寄付やボランティア参加が見られ、復興に向けた機運が高ま



昼食の準備を急ぐ炊き出しボランティア

っています。

3月24日(木)、町民会館では、岩泉地域振興協議会から下沢廻、南沢廻、惣畑の3自治会の女性会員と町立岩泉中学校の2年生の女子生徒約30人が食事作りに従事。参加者は「被災者の皆さんの気持ちを少しでも癒すことができるのなら」と話していました。

熊谷彩花さん(岩泉中2年)は「被災者の皆さんの役に立とうと呼びかけて、自ら集まったメンバー。今日で5日目です」と、元気いっぱい避難所を駆け回り、さまざまな作業を手伝っていました。

積丹観光協が炊き出し

3月23日(水)、東日本大震災の津波被害を受けた小本地区で、北海道の積丹観光協会(佐藤勝次会長)の7人のボランティアが炊き出しを行い、被災者や復旧作業にあたる人たちにカレーライスが振る舞われました。佐藤会長は、「被災報道を見たがどこも連絡が取れず、黙ってみていられなくて岩手に来てみることにしました。フェリーで小本に知り合いがいるという人と出会い、ここで活動を始めることにしました。温かいご飯を食べて元気になってほしい」と話していました。



カレーライスの炊き出しに並ぶ被災者の列

ボランティアメンバーは大きな声で「がんばってくださいね」と励まし、被災した70歳代の男性は「うんめえなあ」と涙をこぼしていました。

昭島市がボラ団を派遣

3月27日(日)、東京都昭島市から4人のボランティアが来町しました。

昭島市と岩泉町は、平成7年から、小学生が互いにホームステイをしたり、町の鍾乳洞探検や昭島市のくじら祭りに参加したりする小学生国内交流事業を実施。22年4月からは、職員の人事交流が始まり、1人ずつ職員が交換勤務しています。

派遣ボランティアは1週間ごとに交代し、約1カ月間、避難所や災害対策本部の活動を支援する予

町を襲った津波の歴史

リアス式海岸は湾口の幅が広く、湾頭(湾の奥)に行くに従って幅が狭く、水深も浅くなるため、津波が押し寄せると漁村や都市、港がある湾頭に向かって波のエネルギーが集中するという特徴があります。このため三陸海岸は、これまで多くの津波被害を受けてきました。

明治29年 三陸沖地震津波

明治29(1896)年6月15日午後7時32分、釜石東方沖を震源地とするマグニチュード7.6の地震が発生。県内では津波によって死者1万8158人、流出倒壊家屋6882戸などの大被害が発生しました。

本町(当時の小本村、中野村、小成村)では、132戸が流失、364人が死亡したと記録されています。

昭和8年 三陸沖地震津波

昭和8(1933)年3月3日午前2時31分、釜石東方沖を震源地とするマグニチュード8.3の地震が発生、宮古では震度5を記録しました。

津波は明治29年に次ぐ大きな被害をもたらし、県内では死者



瓦礫の撤去作業にあたる町議会議員



町民ルームに設置されたボランティアセンター



町に届けられた救援物資

定です。

広がる奉仕活動の輪

町社会福祉協議会は、役場町民ルームにボランティアセンターを設置、作業の支援を求めるとボランティア活動への参加を希望する人の橋渡しを行っています。

作業の支援を求めるとは、日増しに増加。被災現場には被災住宅からの物品の搬出や瓦礫の撤去、泥出し、清掃など、人手を必要とする作業が山積しています。

ボランティア活動への参加を希望する人の中には、中学生の姿もありました。

「自分にも町のためにできるこ

とがあるならと思ってきました。と話す男子生徒の表情はとても大人びて頼もしく見えました。

全国から集まる支援

3月25日（金）現在、町には13件で400万円を越える義援金が寄せられています。

また、多くの食料や物資などが日々町に届けられています。避難所での食事は、これら救援物資によって支えられています。

震災復興対策室を設置

町では東日本大震災の被災を受けて、4月から役場の地域整備課内に「震災復興対策室」を新設し、仮設住宅の整備など復興に関する業務を担当します。

4月1日付の町職員人事異動については、広報5月1日号で紹介しています。

交通情報

町民バス 4月1日から通常運行

1408人、行方不明者1263人、流出倒壊家屋5435戸。本町（当時の小本村）では、89戸が流失、120人が死亡したと記録されています。

昭和35年 チリ地震津波

昭和35（1960）年5月23日午前4時11分（日本時間）、南米・チリ中部沿岸に大地震が発生し、地球の裏側からおよそ22時間30分から23時間かけて太平洋を横断した津波が日本の太平洋沿岸を襲いました。

最大波は翌24日の午前5時から8時に発生、野田湾や広田湾では6メートル以上に達しました。

県内の死者は55人、行方不明者6人、流出家屋472戸、全半壊1511戸、床上・床下浸水は4653戸に達しました。

平成23年3月11日 東日本大震災

日本観測史上最大のマグニチュード9の大地震を記録し、東北から関東にかけての広い範囲で津波や火災が発生し、多くの死者や負傷者を出しました。町内の被害は、死亡者9人、倒壊家屋約130棟、浸水家屋約40棟に達しました。

（3月28日現在）

津波体験を語る

伝えていって 欲しい 避難体験



小本小学校 太田勝浩校長

子供たちは避難所の奥のほうに逃げさせてもらいました。避難の際は、冷静に行動でき、机の下に隠れるなど指示通りにできました。

今回の避難の体験、地域での支援の様子を伝えていかなければなりませんし、そうしてくれると信じています。

3月は昭和の大津波があった月で、当時の体験談などを紹介し、学習していたところでした。

先人の教え 思い出す



箱石義郎さん（80歳・小本1）

小学校の上の国道45号トンネル脇の避難所に避難して20～30分程経ったころ、「津波だ」の声に中野方向を見ると、中野が全滅するかと思うほどの高い波が見えました。気付くと波は小学校の校庭まで達していました。

水が引けて下に降りると、夢にも思わなかったような被害に恐ろしくなりました。

近い将来、津波が来るとは分かっていますが、まさかこんな大津波が来るとは誰も思っていなかったのではないのでしょうか。

昭和8年の津波を経験した人が、口癖のように「どんな大きいのが来るのかわからない。気を付けろ」と言っていたのを、被害に遭って思い出しました。

常日ごろの備えが大切だと、改めて感じています。

消防団の不眠不休の活動に頭がさがる思いと、自衛隊の活躍にみんなが感謝しています。また、関係者の皆さんに対しても改めて感謝しています。

自分たちにできる限りの ことがしたい



岩泉高等学校2年

北俣翼さんと菊池暉さん

岩泉高等学校では、1～2年生の生徒約100人が、被災した小本小学校と小本中学校の清掃活動などに汗を流しました。

ボランティアに参加し被災地を目にしたときは、思った以上の被害でした。こんな大事になっているとは思いませんでした。自分たちにできる限りのことをやって復興に貢献したいと思います。

災害に関するお知らせ

被災物件の町税

【税務出納課】3月11日の大津波による被害は甚大なものとなっています。町では、被災した人の23年度の町税について、次のとおり取り扱うこととします。

固定資産税

被災した物件（建物など）に係る固定資産税は、減免対象となります。

軽自動車税

被災によって廃車状態となった軽自動車などについては、廃車申告により課税の対象外となります。

課税後に廃車状態であることが判明した場合は、届け出によりその事実の発生した日にさかのぼって課税取り消しとなります。

なお、減免などの対象の人にも、納税通知書（納付書）は送付されますので、あらかじめご了承願います。

手続きなど、詳細については納税通知書に同封してお知らせしますが、不明な点は問い合わせください。

◆問い合わせ：資産税室（内線207・208）、収納対策室（209）、税務室（内線210）

運転免許証の取り扱い

◆有効期間を延長

自動車運転免許証の有効期間が、3月11日（金）以降に満了する県内県居住者は、その有効期間が8月31日（水）まで延長されます。

◆再交付について

岩泉警察署での再交付手続きの場合は、後日発行となります。

即日発行ができるのは、盛岡運転免許センター（県情報交流センター・アイーナ内） ☎0191-60611251、県北運転免許センター（久慈市） ☎0194-5210613

◆更新業務の休止

被災者の再交付を優先するため、3月28日（月）からしばらくの間、更新業務を休止します。

被災家屋の危険度判定

社団法人県建築士会岩泉支部では、東北地方太平洋沖地震の津波により被災した家屋で、今後も居住を希望するのについて、継続的な居住が可能であるか判定を行っています。

調査は無料で実施していますので、希望者は問い合わせください。

◆問い合わせ：社団法人県建築士会岩泉支部 支部長 西倉正三

☎090-2608-929
6、西倉工務店 ☎22-2407

町民会館の避難所使用

【教育委員会】町民会館は大津波災害で被災した皆さんの避難所に指定されています。

当分の間、町民会館の通常利用はできませんので、ご理解とご協力をお願いします。

◆問い合わせ：社会教育室（内線522）

災害義援金口座を開設

【税務出納課】町では、災害義援金専用口座を開設しました。

岩手銀行

◆口座：岩泉支店（店番044）

普通預金No.2023749

◆口座名義：岩泉町災害義援金

岩泉町長 伊達勝身

北日本銀行

◆口座：岩泉支店（店番032）

普通預金No.7011833

◆口座名義：岩泉町災害義援金

岩泉町長 伊達勝身

◆注意：振込手数料は本支店の窓口取り扱いは無料になります。

（ただし、岩銀のATMによる振り込みや、都市銀行や信用金庫などからの振り込みは有料になります）

◆問い合わせ：出納室（内線201）

犬の予防注射を延期

毎年4月に実施している狂犬病予防注射は、5月以降に延期します。詳しい日程については、広報記事を通じて後日お知らせします。

◆問い合わせ：環境推進室（内線264）

医療機関での受診

【町民課】今回の地震の被災に伴い、被保険者証を紛失または自宅などに残したまま避難した人は、医療機関などの窓口で、氏名、生年月日、住所、事業所などを伝えれば受診できます。

住家の全半壊、主たる生計維持者が死亡、重篤な傷病、行方不明、業務を廃止または休止、失職し現在収入がないなどの場合、その旨を医療機関などの窓口で申し出ると、当面、5月末日まで窓口での一部負担金の支払いが猶予されます。

◆問い合わせ：国保年金室（内線223）

大きな樹が育ち 明日が見える岩泉のために



施政方針を述べる伊達勝身町長

平成23年第1回町議会定例会が2月22日に召集され、23年度予算などを審議し、原案通り可決され3月11日に閉会しました。初日の本会議で伊達町長は「大きな樹が育ち明日が見える岩泉。創造に向けて、力強く歩んでいきます」と施政方針を述べました。ここでは、施政方針の要旨と主要事業のあらましを紹介いたします。

本年はわたしが平成19年12月に、三度、町政の舵取りを任されて以来4年目の年となります。就任以来、町の最大の課題でもある過疎化、少子高齢化に真正面から取り組み、町民の皆さんの幸せと明日の見える岩泉を築くために、粉骨砕身、町政運営を担ってきました。

この間、平成の大合併や世界的な大不況、政権交代などの大きな波が押し寄せて来ましたが、目標を見定め、ぶれることなく、町政の舵取りをさせていただきますました。その結果、雇用の場の創出、拡大などにより定住化の促進が図られてきていますし、6つの地域振興協議会が本格的に始動するなど、町民の皆さんの前向きな姿勢と弛まぬ努力により、地域主導のまちづくりも根付いてきています。

国家財政は、毎年度、長期債務残高が過去最高を記録し続け、22年度末には約900兆円が見込まれていて、またその一方では、子ども手当の増額、法人税の減税、社会保障費の増増など、単年度での収支不足は否めず、国債などに頼らざるを得ない状況が継続しています。

わたしは、このように激動する世界や日本の中にあつて、岩泉町が何をなすべきかを皆さんとともに考え、行動し、岩泉町が将来にわたって持続し、町民の皆さんが幸せを実感できる町を構築するために、皆さんとともに山積する諸課題を克服し、大きな樹が育ち明日が見える岩泉。創造に向けて、力強く歩んでいく考えです。

23年度の主要施策の概要

「新まちづくり総合計画」で、町が目指す将来像として掲げる4つの森林ごとに説明します。

力強い産業が高い価値を生む

「豊かな森林」づくり

雇用の拡大と生産性の向上を図り、地域経済を活性化するために、農林水産業を中心に商業、観光などの産業の振興に努めます。

【農業】



岩泉乳業のヨーグルト

安全安心な農産物の生産を基に、本物の農畜産物の付加価値と収益性を高め、他との差別化を明確にし、産地間競争力の強化が必要です。オンリーワン

の商品である岩泉乳業のヨーグルトは、まさに6次産業の代表でもあります。

岩泉短角牛、畑わさびの生産、加工、流通、販売まで行う6次産業化の推進、山菜など新規作物の生産拡大など収益確保に努め、農業担い手の確保支援や岩泉農業振興公社のコントラクター事業支援による粗飼料自給率の向上などで、農家の経営基盤を強化し、農業の多面的な視点から、グリーンツーリズム、農家民泊なども進め、総合的に農家経営安定施策を展開します。

また、昨年から発売した山ぶどうワインをはじめ、町産ヤマブドウのブランド化を図るため、「やまぶどうサミット」を開催します。

【林業】

国の「森林・林業再生プラン」の具体化に向け、昨年末に再生に向けた改革の姿が示され、この中で10年後の木材自給率50%以上を目指し、政策、制度、体制の抜本的見直し、新たな森林・林業政策の構築などが計画

されています。

町でも、森林整備計画の見直し、役割の明確化、森林集約化、路網整備による低コスト作業など、林業の再構築に向け、国と歩調を合わせ積極的に取り組めます。

全国に先駆け取り組んでいる森林認証林事業では、認証製品に対する需要が高まっていることから、町有林や認証グループからの供給に努め、森の町内会事業、企業の森事業など持続可能な林業生産を引き続き推進し、原木・菌床しいたけ生産による日本一の生産地づくりに向けて、生産拡大に取り組めます。

森林病害虫被害に係る松くい虫やナラ枯れ被害については、町での発生は確認されていませんが、関係機関との情報共有を密にして有事の際に備え、近年増加しているツキノワグマやニホンジカによる農作物の被害については、岩泉猟友会などの協力を得て、引き続き防止に取り組めます。

【水産業】

漁業生産基盤の整備や養殖漁業基盤強化のための各種共済加入への助成など、資源管理型漁業を推進、内水面漁業では、魚

族の減少原因を把握するための河川環境調査を実施し、稚魚放流やカワウ対策など魚族保護に取り組み各河川漁業協同組合への支援を継続します。

【商工業】



東京都内で開催した「産業ネットワークいわずみ」

中小企業の経営基盤強化のために資金融資枠の確保に努め、労働者の社会保障制度への安定加入のための支援策を講じます。

誘致企業のフォローアップに引き続き努め、誘致企業関連の企業や食産業企業などを中心に誘致活動を進め、既存誘致企業の事業拡大を促し、就労の場の確保に力を注ぎます。

商工会などと協調して、まちなかガイドによる誘客やスタンプカード、商品券などを活用した消費拡大事業を展開し、商店

街の振興に努めます。

第3セクターと町などで構成するまるごと営業本部では、「首都圏営業ステーション」を新たに設置し、積極的に町産品を売り込み、引き続き「産業ネットワークいわずみ」を開催し、首都圏企業とのパイプ強化に努めます。

【観光産業】

龍泉洞の町営50周年を機に洞内照明をリニューアルして魅力アップに努め、「日本鍾乳洞サミット」、JR東日本と提携した「いわて三陸宮古フェスティバル・イン龍泉洞」など、さまざまな誘客活動を展開し、関係者の理解を得ながら龍泉洞周辺の環境整備に鋭意努力します。

町内各地域でも、漁船クルーズなど地元の資源に光を当てる動きも活発化していますので、多彩な体験型観光メニューと受入体制を整え、南部牛追唄全国大会や花めぐりツアーなど従来のイベントも充実させ、観光客などの交流人口の拡大を図り、県が提唱する「いわて三陸ジオパーク」についても、沿線市町村と連携し、ジオパークの認定に向け、積極的に研究を進めます。

雇用の確保対策では、「町緊急経済雇用対策本部」を中心に、町内企業、誘致企業、第3セクターなどと情報交換、連携し、国や県の雇用対策と連動し、失業者の早期就業支援や新規就業者の就職率の向上などに万全を期すこととしています。

「安らぎの森林」づくり

健康で長生きし、心豊かに生きがいを持って人生を送ることは、町民すべての願いです。「安らぎの森林づくり」では、保健、医療の充実、少子高齢化、障がい者対策など町民の健康づくりと地域ぐるみの福祉の構築を目指します。

保健事業では、悪性新生物や脳血管疾患など生活習慣病が、本町の死因の約6割を占める状況ですが、これらの多くは食生活や運動で改善されることから、食と運動を結び付けた健康づくりを推進する「健康づくりネットワーク事業（まめまめ・もりもりネットワーク）」を充実強化し、病気の早期発見、早期治療のための、がん検診など各種検診や健康診査受診率の向上と保健活動を強化し、特にも低年齢層からの予防措置とし

て、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種に対し助成します。地域医療では、済生会岩泉病院の医師確保のための支援を拡大継続し、済生会岩泉病院や県立病院との協力体制の一層の充実に努め、無菌科医地区への巡回診療サービスを継続します。

子育て支援では、岩泉幼稚園、岩泉保育園を閉園し、4月に「認定こども園」を開園しますが、併せて同園に子育て支援センターを設置して、子育て支援体制を充実し、出産祝金支給、医療費助成、妊産婦健診通院費補助、子ども手当の支給など、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めます。

高齢者福祉では、特別養護老人ホームを40床増床することとしていて、4月ごろに開設が予定されている岩泉地区、小本地区の認知症型グループホームと併せ、施設介護待機者の解消に努めます。

傾聴ボランティア研修会や介護研修会を開催し、地域住民が共に支え合う地域ケア体制の構築に向け、ボランティアの育成を進め、介護施設における人材の養成、住まいのバリアフリー

化支援などの環境整備や生涯学習、スポーツへの取り組みなど高齢者の生きがいづくりに取り組みます。

地域の自主的な福祉活動では、社会福祉協議会を中心に地域住民や地域ボランティア団体などと連携し、ボランティア人材、団体の養成や啓発活動などで、共に支え共に生きる地域福祉社会の構築に努め、障がい者が地域・企業などの理解を得て、地域で生活し、活動や仕事に取り組みむことができる社会環境づくりに力を注いでいきます。

安全で快適な暮らしを支える「美しい森林」づくり

地域の産業振興、経済活動の活性化はもとより、活力ある地域社会の形成、快適で潤いのある生活空間を支えるものは、基本的な社会資本の整備です。「美しい森林づくり」では、道路交通網の整備、環境の保全と循環型社会の構築、新エネルギー利用、交通・情報網の確立、防災活動を通じ、安全で快適な環境づくりを目指します。

道路交通網の整備では、地域高規格道路「三陸北縦貫道路」中野バイパス、下閉伊北区域農道が完成するなど、幹線道路の整備が着実に進められていて、国道340号落合・大渡間や県道久慈岩泉線、県道大川松草線など、懸案となっていた箇所も調査が開始されるなど、町民の皆さんの熱意により、着々と進展しているところですが、今後

も、国道の整備促進を関係機関に強く要望していきます。町道なども順次整備を進め、「すぐやる道路維持補修事業」などで、目の行き届いた維持修繕に努め、「生活道及び農道整備事業」の補助率を3分の2から90%に拡充するなど、生活に密着した道路の維持管理に努めます。



開通した中野バイパス

公共交通機関では、昨年7月以来不通となっているJR岩泉線の運行再開に向け、早期復旧

活動を強力に展開し、高齢者など交通弱者の足として欠かせない三陸鉄道や町民バスの維持強化、利用促進に努め、高齢社会に対応する2次交通手段として、公共交通路線までの移動手段を確保できない状況も散見されることから、過疎地有償運行の検討や乗合タクシーによるデマンド方式の運行など地域の実情を考慮した交通対策を進めます。

居住環境では、町営住宅の改修を計画的に進め、「住宅リフォーム事業」を創設し、水洗化や耐震化改修などを促すため、補助金と商品券助成を組み合わせ、地域内の消費拡大も図り、個人住宅などの居住空間の環境整備に努めます。

情報通信網では、7月には地上デジタルテレビ放送への完全移行となることから、共同受信施設のデジタル化整備と併せ、難視聴世帯が発生しないようさまざまな手段を講じます。

携帯電話については、不感地帯の調査を進め、その解消に努め、町の情報発信ツールとしてのモバイルサイトの活用、高齢者支援システムの構築などを進めます。

環境の保全では、異常気象な

どで身近に地球環境保全への意識が高まってきていて、さらに環境教育や河川の清流化対策活動などを通じて、自然環境保全意識を高め、自然保護指導員や環境巡視員の巡回指導を充実強化し、いっそう、環境保全活動の推進に努め、「町環境基本計画」に沿った施策を展開します。

ごみ処理では、資源ごみの再資源化推進のため21年度から分別収集の細分化を実施したところですが、リサイクル推進員の現地指導、普及啓発によりリサイクルを徹底し、「生ごみ一絞

り運動」などを展開し、廃棄物の減量化を進め、不法投棄の防止活動などを展開し、廃棄物の適正処理による資源循環型社会を構築します。また、太陽光発電を各小中学校、認定こども園

など公共施設へ設置したところですが、国や県の施策と連動し、一般家庭への普及に努め、新エネルギーの導入についても調査・研究していきます。

消防・防災では、昨年、津波、豪雨、豪雪など、自然災害が頻発し、特に年末年始の豪雪は、実に昭和19年以来の災害で、施設の倒壊や停電など甚大な被害をもたらしている、防災対策に

は万全を期していく必要があることから、万一の災害に備えて、総合防災訓練を実施し、自主防

災組織の活動強化に努め、災害情報などを周知するために、携帯電話を使ったエリアメールの構築など、多様な災害を想定し、危機管理体制の強化に努めます。

老朽化した消防庁舎の大規模改修に向け、用地取得などの準備を進め、消防ポンプ自動車の整備など消防力を強化します。

交通安全・防犯対策では、関係機関、住民団体と連携し、地域ぐるみで防犯や交通安全運動を実践するなど安全で安心できる環境づくりに努めます。

水道事業では、災害に強い重要なライフラインとして、安定した給水を確保するため、安家と大川簡易水道の更新整備により、適切な施設の維持管理に努め、汚水処理では、水質保全の意識啓発を図り、公共下水道加入率の向上に努め、公共下水道整備区域外への浄化槽設置を奨励していきます。

人材を育み文化をつなぐ

『希望の森林』づくり

まちづくりの基本は人材の育成であり、町民が生きがいのある人生を送り、地域社会を支え



完成した「いわいずみこども園」

せていきます。

教育研究活動や研修で教員指導力を高め、中沢小学校の改築やスクールバスの整備など教育環境の充実を図ります。

就学前教育では、認定こども園を中心に、保育園や民営保育所などでも、小学校教育への円滑な移行に努めます。

県立岩泉高等学校については、高校振興事業や通学費の補助、生徒の夢を叶えるためのドリームサポート事業を拡充するなど、全町をあげて高校存続強化に取り組み、魅力ある学校をつくるために最大限支援します。

社会教育では、自主学習グループの活動を支援し、教育振興運動との連携、各種学習講座・学級を開設して家庭・少年・青年・高齢者教育を充実させ、指導者・リーダー育成に取り組み、いつでも、誰でも学習

できる環境づくりに努め、社会教育施設の整備では、図書館整備計画を推進し、図書電算システムの導入や地区集会施設整備に対する助成などを行います。

交流活動の推進では、東京都昭島市や米国ウイスコンシン・デルズ市との児童生徒の相互交流を実施し、昭島市との職員の

人事交流を続け、国際交流、地域間交流により、相互理解を深め、広い視野を持った人材の育成に努めます。

文化財の保護・活用では、町歴史民俗資料館の入館者の拡大を図り、民俗資料などの保護・活用を進め、民俗芸能の発表機会の提供や支援により保存伝承に取り組み、芸術文化の振興では、芸術文化事業、青少年劇場、町民文化展、合同芸能発表会などを開催し、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供し、町民自らが取り組んで開催する公演事業へ助成するなど、町民会館の利用を高め、芸術文化活動を支援します。

スポーツの振興では、体育指導委員会を中心に、スポーツ教室・大会の開催、野外レクリエーションの普及など、誰もが楽しめるスポーツレクリエーションの普及・推進し、スポーツを気軽に楽しめる環境づくりに努め、28年の岩手国体「軟式野球」の競技会場地として選定されたことを契機に、町体育協会などの関係団体と連携し、大会誘致、各種教室の開催などにより、競技力の向上に努めます。

主要事業を紹介します

(単位：千円)

力強い産業が高い価値を生む

豊かな森林づくり

(農業)	
・下閉伊北区域農用地総合整備事業負担金	69,496
・中山間地域等直接支払推進事業	45,383
(林業)	
・林道鬼の坂線改良舗装事業	55,000
・林道整備事業(県代行事業)	21,163
(水産業)	
・小本地区地域水産物供給基盤整備事業	170,898
・小本漁港水産物供給基盤機能保全計画策定事業	10,500
(商工業)	
・緊急雇用創出事業	92,311
・中小企業振興資金融資原資貸付金	50,000
(観光)	
・龍泉洞等管理運営事業	60,968
・龍泉洞町営50周年記念事業	7,000

人々の健康と幸せを運ぶ

安らぎの森林づくり

・特別養護老人ホーム増床改築事業補助金	315,740
・自立支援給付事業	253,679
・後期高齢者医療給付費等事業	161,200
・子ども手当支給事業	153,978

安全で快適な暮らしを支える

美しい森林づくり

・宮古地区広域行政組合負担金(衛生)	157,385
・宮古地区広域行政組合負担金(消防)	250,116
・安家簡易水道施設整備事業	65,520

人材を育み文化をつなぐ

希望の森林づくり

・中沢小学校改築事業	89,880
・地区集会施設整備事業	25,930
・岩泉高校通学費補助事業	18,000
・学校フォローアッププラン推進事業	11,178

むすび

22年度は、過疎からの脱却という新たな地方の「伝説」を創り上げるために策定した「新岩泉町まちづくり総合計画」の初年度でした。

また、国勢調査年でしたが、結果は残念ながら人口1万804人と前回調査から1100人減少し、減少率は前回より2ポイント大きくなっています。超高齢社会で高齢者の死亡数

が多く、出生者が少ない自然減によるところが大きいものではないかと、これまで誘致企業や第3セクターなどを中心に、雇用の場を確保し、若者の定住化、少子化対策を強力に進めてきたにもかかわらず、誠に無念の思いがしてなりません。

しかしながら、このようなつともなく大きな壁だからこそ、さらにさまざまな施策を推進し、今できること、やるべきことを着実に、しっかりと対応して

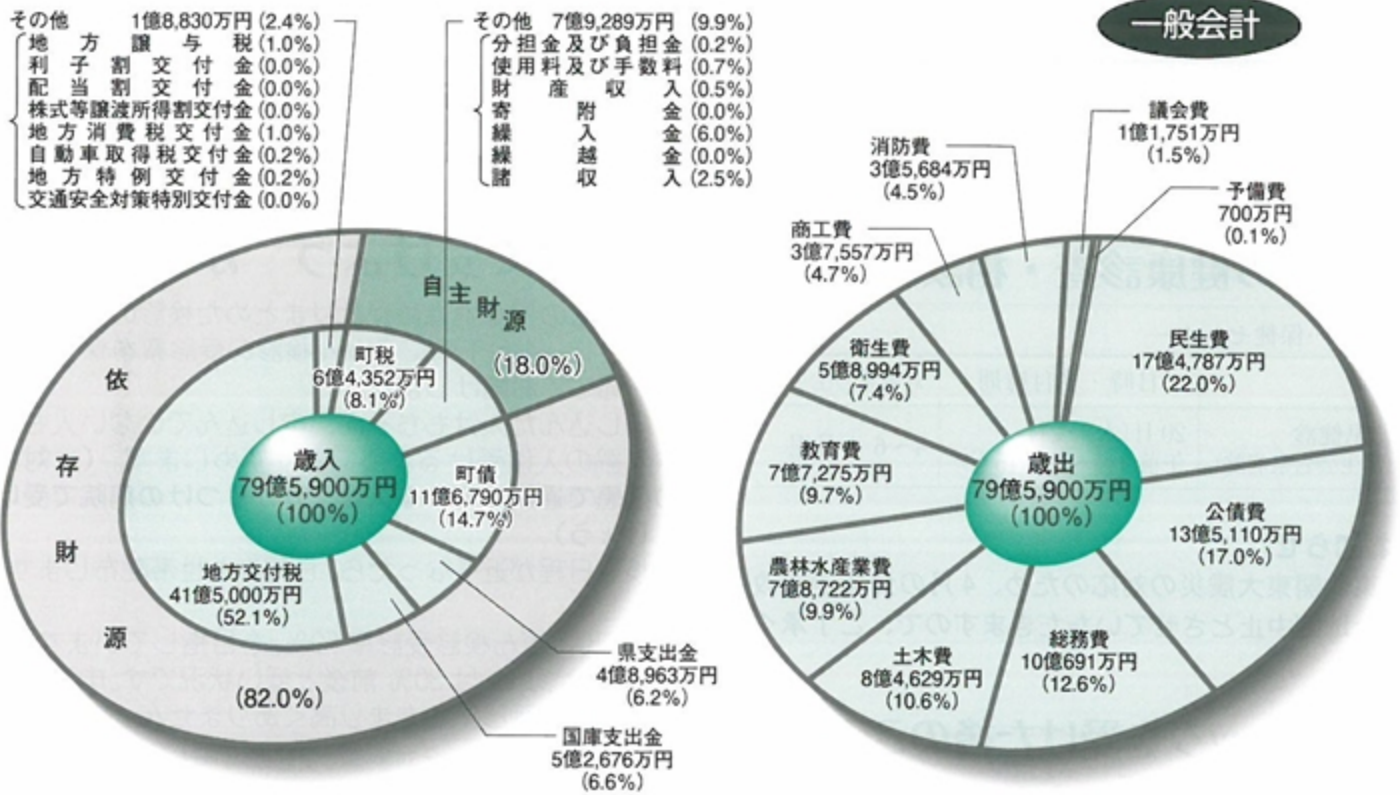
いかなければならないと、胆に命じたところです。国は混沌とした外交問題や膨張を続ける赤字財政などの諸課題もあり、新たな政権が打ち出した政策の推進もままならず混迷を極める中で、地方は依然として、歯止めのかからない人口減少、急激な少子高齢化、地域経済の衰退など、過疎の負のスパイラルから抜け出せない状況が続いています。

私たちは自らが、発想の転換を図りながら、地域の英知を結集し、目標を見定めて独自の施策を展開していく必要があります。「岩泉から日本のありようを変えていくのだ」という強い信念と高い志を持って、町が一丸となり、明日が見える、未来を描けるまちづくりを実現できるように、全力で取り組んでいきたいと意を強くしているところです。

新たな伝説を創造する羅針盤として、この混迷する時代に、町民の皆様と行政が心を一つにし、経験と学習の蓄積を礎に知恵を絞り、汗を流しながら、町の明日に希望の光が輝き、すべての町民が、そして未来の岩泉町を担う子どもたちが、誇りと自信を持ってこの町に生まれて良かった、この町に住み未来永劫引き継いでいきたいと思うようなまちづくりのために、全身全霊をもって挑戦していく覚悟です。

大きな森林を育てる

79億5,900万円



平成23年度一般・特別会計予算額

区分	予算額	伸び率		
一般会計	79億5,900万円	3.3%		
特別会計	国民健康事業勘定	16億710万円	△2.8%	
	国民健康施設勘定	3,210万円	2.6%	
	後期高齢者医療	9,800万円	10.9%	
	老人保健	0万円	皆減	
	介護保険	事業勘定	13億4,730万円	4.6%
		サービス事業勘定	1,020万円	2.0%
	簡易水道	3億7,100万円	△32.6%	
	観光事業	1億6,370万円	△15.1%	
	宅地造成事業	270万円	0.0%	
	公共下水道事業	1億6,190万円	△6.2%	
大川財産区	540万円	△14.3%		
合計	117億5,840万円	0.5%		

本年度予算は3.3%の増額に
平成23年度一般会計当初予算は、総額79億5,900万円、前年度当初予算と比較して2億5,300万円の増(3.3%増)となりました。

本年度の主な事業は、特別養護老人ホーム増床改築事業補助金(3億1,574万円)、除雪機械格納庫建設事業(8,346万円)、中沢小改築事業(8,988万円)、住宅リフォーム奨励事業(1,000万円)、予防接種事業(子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン)(1,450万円)などです。

歳入では、地方交付税(41億5,000万円)、繰入金(4億8,096万円)、県支出金(4億8,963万円)などが増、国庫支出金(5億2,676万円)が減少しています。

歳出では、土木費(8億4,629万円)、商工費(3億7,557万円)、教育費(7億7,275万円)などが増、総務費(10億6,911万円)、民生費(17億4,787万円)、公債費(13億5,110万円)が減少しました。

歳出予算を性質別経費でみると、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)の構成比が41.8%(33億2,745万円)、投資的経費(普通建設事業費)の構成比が19.4%(15億4,114万円)、その他の経費(物件費・維持補修費・補助費等)の構成比は29.1%(23億1,746万円)となっています。



4月のまめもりガイド

各種相談、健診、予防接種の問い合わせは、保健福祉課健康推進室（内線 236、239）へお気軽にどうぞ。

脱メタボまめ知識「ウォーキングのポイントは、歩数と速さ!!」

毎日1万歩歩いているのに、一向に体重が減らない!とお悩みのあなた。歩くスピードがゆっくりではありませんか?

ゆっくり歩行などの低強度の身体活動は、エネルギー消費量が少なく、結果として脂肪燃焼量も少なくなります。

★脂肪を燃焼させるポイント★

1. 速歩きなどの少し強めの身体活動を、合計20分程度取り入れる
2. 強度の目安は、「息切れをするくらい」

常に息切れするくらいのスピードで歩く必要はありません。その日の体調に合わせて、無理のない範囲で取り組んでみてください。



おまけ

ランニングなどの高強度の身体活動では、脂肪よりも糖質が多く使われます。

子どもの健康診査・相談

◆場所…保健センター

	日時・受付時間	対象児の生年月日
乳児健診 (済生会岩泉病院)	20日(水) 受付 午前9時~9時15分	4~6カ月児

【お知らせ】

東北関東大震災の対応のため、4月の介護予防教室は全地区中止とさせていただきますので、ご了承ください。

強いショックを受けた後のこととからだについて・・・

自然災害や事故、事件、大切な人の自死などのショックな出来事を体験した後、私たちのこととからだにはさまざまな変化（感情がわからない・不眠・食欲不振・孤独感・イライラほか）が起こります。これは、日常とはかけ離れた大変な出来事に対する正常な反応です。多くの症状は時間がたつと自然に回復していきます。

健康を保つには・・・

食事・睡眠・運動・休息を大切に！（全力で頑張りすぎると燃え尽きます！）気持ち・体験をことばにしましょう。

気になることがあったら・・・

心身の苦痛が強すぎたり、長く続くときは、かかりつけ医や地域の保健師などの専門スタッフに相談しましょう。

◇主な相談機関のご案内◇

- こころの電話（こころの病気等に関する相談）
(Tel 019 - 622 - 6955)
- 災害ストレス健康相談（岩手県精神保健福祉センター）
(Tel 019 - 629 - 9617)

みんなで受けよう がん検診!

各地区の保健推進員がとりまとめた検診の申し込みをもとに、4月下旬に各がん検診の受診票を保健推進員を通じてお届けします。

申し込んだ人はもちろん、申し込んでいない人も対象年齢の人は受けるようおすすめします。（※対象の疾患で通院している人は、かかりつけの病院で受けましょう）

検診日程が近くなったら、日程表を世帯配布します。

町では「がん検診受診率50%」を目指していますが、肺がん検診以外は30%前後と低い状況です。申し込みをした人の受診率もあまり高くありません。

検診名	全対象者の受診率	申込者の受診率
子宮がん検診	23.6%	57.8%
乳がん検診	27.4%	60.1%
胃がん検診	22.9%	55.4%
大腸がん検診	36.6%	74.3%
肺がん検診	71.8%	76.0%

(平成22年度受診率)

「がんが見つかったら怖いから受けない」、「具合が悪くなったら病院に行く」という声をよく聞きます。しかし、具合が悪くなってからでは生活への負担が大きくなります。

がんは早期発見・早期治療で治る病気です。定期的ながん検診を受けましょう。



各種相談のご紹介

左記の各種相談について紹介します。

気軽に相談してください。

【医師によるこころの相談】ストレスや引きこもり・うつ状態・不眠や不安が続く・物忘れなどの悩みに、専門の医師が対応します。

【自殺関連こころの相談】ストレス・不眠などでお悩みの方、自死遺族などの相談に、保健師が対応します。

【お酒の相談室】お酒の問題で悩んでいる人やその家族の相談に、酒害相談員が対応します。

予防注射で牛アカバネ病予防

【農林水産課】牛アカバネ病予防注射を実施します。昨年は25年ぶりに県内で牛アカバネ病の流行が確認されました。

この病気はヌカカが媒介する病気ですが、ワクチンで予防できます。ヌカカが活動する前にワクチン接種することをお勧めします。

希望する人は、電話で申し込んでください。

◆日程

月 日	1班実施地区	2班実施地区
4月18日 (月)	大川	小本
4月19日 (火)	岩泉	安家 (折壁、氷渡、大平)
4月20日 (水)	釜津田	小川
4月21日 (木)	有芸	安家 (上記以外の地区)

◆対象牛…全ての、妊娠牛とこれから種付け予定の牛

◆料金…1頭1,750円(当日徴収します)

◆申込期限…4月15日(金)

◆申込先…畜産振興室(内線547)

緑化木用の苗木を配付します

【農林水産課】県緑化推進委員会岩泉支部では、桜などの環境緑化木の苗木を希望者に配付します。希望が多数の場合には、本数調整する場合があります。

この事業は緑の募金によって運営されています。

◆対象…町内会や自治会などが行う公共施設の緑化

◆申込期限…4月15日(金)

◆申込先…同支部事務局(林業水産室・内線533)

農振地域整備計画の見直し

【農林水産課】総合的な農業振興のため「岩泉農業振興地域整備計画」を策定し、5年ごとに定期見直しを行っています。農用地区域内の農地を農地以外の土地に変更するときに必要な「農振除外」の手続きは、原則として定期見直しの時しかできません。本年度は、計画の定期見直しの年度にあたりますので、農用地区域内の農地を農地以外の目的で使用しなければならない人は、期限までに申し出てください。

◆申出期限…6月15日(水)

◆申出先…農業振興室(内線534)

太陽光発電の電力を買い取り

平成21年11月から「太陽光発電の余剰電力買取制度」がスタートしています。この制度に伴う太陽光発電促進付加金の実質負担が、4月分の電気料金から始まります。

詳しくは問い合わせてください。

◆問い合わせ…経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー対策課 再生エネルギー推進室

☎03-3501-2342

文化センターの受講生募集

NHK文化センター盛岡教室では、共用・文芸などさまざまな講座を企画し、受講生を募集しています。詳しくは問い合わせてください。

◆問い合わせ…NHK文化センター盛岡教室 ☎019-622-6611

スポーツクラブ員を募集

宮古市勤労青少年ホームでは、フットサルやテニス、バドミントンなどのクラブ員を募集しています。詳しくは問い合わせてください。

◆宮古市勤労青少年ホーム

☎0193-62-7712

おめでとう おめでとう

(2月16日から3月15日届出分)



お誕生
おめでとう

岩泉
2・28 佐々木 桜雅くん(保護者:政紀)
小川
2・24 竹花 颯真くん(保護者:光人)
安家
2・9 川口 唯芽ちゃん(保護者:浩)



ご結婚
おめでとう

岩泉
3・3 {三 上 貴 史
中 山 裕 美 子
小川
3・14 {中 上 建
屋 敷 綾 子



ご冥福を
お祈りします

岩泉 辻 屋 一 男(72・静代)
平 山 マ ツ(81・節子)
槻 館 ウ メ(76・武見)
大澤口 リ ノ(88・建雄)
佐々木 榮次郎(90・圭介)
武 田 清(81・勇)
三 上 甚右衛門(94・昇平)
小川 澤 五 八(79・利男)
山 崎 ミヨシ(91・正彦)
山 下 サ ツ(94・堀内カツ子)
畠 山 ト ク(99・健)
大川 佐々木 武 美(67・惣一)
小本 三 浦 茂(84・正文)
金 澤 由 三(91・均)
工 藤 ハルミ(75・千一)
武 田 政次郎(80・政喜)
三 浦 昭 八(77・澄子)
三 浦 暢 之(29・進吉)
箱 石 武 雄(81・正純)
箱 石 靖 江(56・得一郎)

ハローワーク 求人情報

この求人情報は、3月11日現在で有効中の町内の求人を掲載しています。すでに募集を締め切っている場合もありますので、注意してください。面接には、ハローワーク発行の紹介状を持参してください。

◆問い合わせ…ハローワーク宮古（宮古公共職業安定所）

	求人者名	所在地（就業場所）	職種	求人数	賃金月額（円） （パートは時間給）
正社員	済生会岩泉病院	岩泉字中家 19-1	臨床検査技師	1	167,000～
			薬剤師	1	178,200～
			看護師	5	188,900～406,000
	(有) 中松屋	岩泉字下宿 37	和菓子職人	1	150,000～300,000
			和菓子職人見習	1	130,000～160,000
			菓子販売	1	120,000～160,000
	岩泉自動車運輸（株）	岩泉字中家 12-1	運転手	1	170,000
(株) クオール (デイサービスすずらん)	浅内字下栗畑 80-6	介護員	1	144,000～150,000	
岩泉町社会福祉協議会	岩泉字森の越 4-14	看護業務	1	164,700	
正社員以外	社団医療法人 緑川会 (ふれんどりー岩泉)	乙茂字上 9-12	介護員	1	137,500～154,000
	佐藤建設（株）	田野畑村(岩泉町内ほか)	法面作業員	2	184,000～230,000
	新岩手農業協同組合 宮古中央支店	宮古市（岩泉町）	葬祭係	1	132,000～154,000
	岩手アライ（株）	小本字長内 26	オイルシールの仕上げ、検査	3	130,500
			オイルシール成形オペレーター	5	130,500
	(株) 岩泉総合観光 (龍泉洞温泉ホテル)	岩泉字府金 48	営業フロント	1	128,800
			調理	1	250,000
	(株) 岩泉総合観光 (龍泉洞管理事業部)	岩泉字神成 1-1	観光案内・施設管理 (4月～24年1月)	2	138,600
			〃 (4月～11月)	1	138,600
			〃 (4月～10月)	2	138,600
			〃 (4月～24年3月)	1	138,600
〃 (5月～11月)			2	138,600	
NPO 法人 きぼうハウス	岩泉字中家 45-2	指導員および運転手	2	120,000	
(有) 樋合商店	岩泉字下宿 31	葬祭業スタッフ	1	120,000～150,000	
パート	(株) 岩泉きのこ産業	浅内字下栗畑 68-11	菌床しいたけの栽培、販売	3	時間給644
	ヤマト運輸（株） 岩手岩泉営業所	岩泉字三本松 54-1	受付事務	1	時間給700
	(株) 薬王堂	岩手岩泉店	販売	2	時間給700
	岩泉町役場	岩泉字惣畑 59-5	レセプト点検補助員	1	時間給870
	(有) 介護施設あお空	宮古市	介護職員	1	時間給680～1,035
			調理員	2	時間給645～700
	早野産業（有）	岩泉字村木 18-1	食堂配膳係	2	時間給645
			惣菜	2	時間給650
	(有) 松屋商店	岩泉字中家 30	レジ	1	時間給650
			給食車運転手	1	時間給830
中央第一総合（有）	岩泉字鼠入川 66				